



出そうで出ないのはオバケと
マサハチロク？
いえいえ、そろそろ道路の上に出ますよ～

こだわりサポートも製作完了！ エンジン再始動秒読み開始！！

製 作段階の進行状況では間違いなくシビックのぶつちぎりです。ラップされているくらいです。そんなマサハチロクに、あのA E 101グループA 4A-Gが載っているってこと覚えてますか？ いちおう言っておかないと不安になるくらい牛歩を進行でした。

が、ウワサによるとそろそろ走りそうです。思い起こせばほぼ1年前に富士スピードウェイのショートコースで初めて走った日、あれ以来封印されていたグループA 4A-Gのサウンドがまた聞けそうなのだ。

しかも今度はかなり本気の全開？らしく、その準備として作っていたのがキャリバーサポート。

なんとエンドレスの6ボットキャリバー、チビロクと296mmビッグローターを取り付けしていた。もちろんキットではないのでホルトオンではない。ローターはシルビア用を4穴に加工。キャリバーはサポートを製作し取り付け。

このサポートはブレーキという重要な部分のものだけに、製作は現役レースガレージのウエタケエンジンニアリングへ依頼した。ちなみにモータークセツティングのプロでもあるので、グループA 4A-Gのセッティングもここで行う。

で、サポートだけど、材質はスチールかアルミを使うのが一般的。最初は安価なスチールも考えたけど、やはりグループA、値段より質を優先することになった。

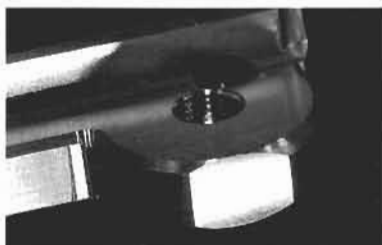
そこで出てきたのが、フォーミュラカーやGTマシン用パーツを作る時に使うハイグレードの7000

▶これがキャリバーサポート製作に使ったハイグレードのアルミ材。フォーミュラニッポンやGTマシンなんかもこれを使う。



▲ローターオフセットがずれすぎたので、純正フラケットを左右逆に付けた。これでは正しい位置にローターがセットできる。

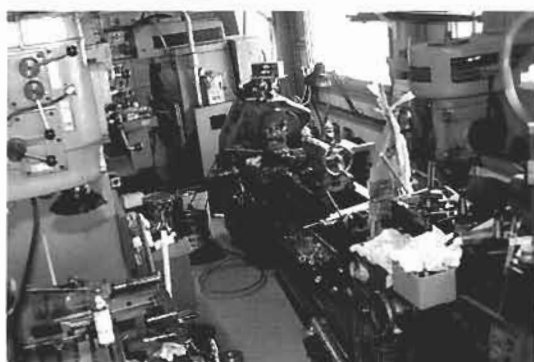
▶キャリバーサポートにはそれなりの力がかかるけど、横方向に力はかからない。そのため意外と肉厚を薄くしてもいけるものだ。



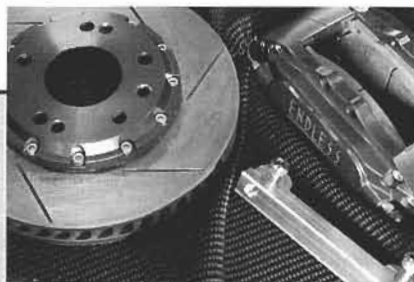
▲ワンオフ特集にも登場したウエタケエンジンニアリングの権竹さん。レースガレージが本業だけど、ストリートのお客さんも多い。

Gr.A ENGINE 再生計画

5 VALVE 4A-G 補
By RACING PROJECT
BANDO & CARBOY



▶ウエタケエンジニアリングの加工スペースがかなりのパーツをワンオフ製作できるので、欲しいものがあれば組み合わせてみるという。



エンドレスのチビロクキャリパーはハチロク用としてのキット設定はないが、板東商会に問い合わせれば、マサ号と同じようにシルビア用ローター改、専用ブラケットが手に入るはず。ただし、ホイールによってはチビロクキャリパーやローターが収まらないこともあるので、そのへんは要確認。効きもすこすこさうだけ見た目も相当かっこいい。

▶ハチロクにチビロク...やこしいけどブレーキ性能はこれで完璧。あとはリヤのバランスをPバルブなどで合わせてやる。



ハチロクにも付くんです! エンドレス■チビロクキャリパー



▲MA86ホイールは追加オーダーを受けるくらい売れたらしい。このホイールどころに大きなローターも入るくらい余裕あり。



▲この手の純正ハブの上からかぶせ、スタッドボルトで位置を出すタイプだけど、こうやって付くようにすればよりセンターが出る。



▶マサ的にはこのハチロクは相変わらずおなじみで、焦らずじっくり作る方向らしい。だれどじっくりやりすぎなような気も...

あとキャリパーサポーターという強度も気になるところだけど、十分な肉厚を持たせてあるし、そもそも材料のグレードも高いので、もって肉抜きしてもいいくらいの作り。ブレーキホースもウエタケエンジニアリングでワンオフするので、あとはそのブレーキを使う走るのみということなんだよ。

ただ、世界に残りー基のエンジンだけに、セッティングが合っていないまま全開はできない。ウエタケエンジニアリングにはエンジンベンチもあるので、それである程度合わせたと、実際にサーキットを走りつつ、煮詰めていくことになると思うけど...次はそれなんですよ。マサくん。

このサイズは12.5φでボルトのほうは12φ。たつた0.5φなんだけど、きつちり中心でとめたかったので、純正ブラケットにかかる部分のみ12.5φにしてあるのだ。

これはなせかというところ、じつはこのボルトが入る穴は、製品誤差が生まれる大量生産に合わせて多少穴を大きく作ってあるのだ。

そのへんをちよいと紹介すると、まずはサポーターを純正ブラケットにとめるボルト。これもわざわざ製作したんだけど、よく見ると首下の一番上がちよつと太い。

これはなせかというところ、じつはこのボルトが入る穴は、製品誤差が生まれる大量生産に合わせて多少穴を大きく作ってあるのだ。

このサイズは12.5φでボルトのほうは12φ。たつた0.5φなんだけど、きつちり中心でとめたかったので、純正ブラケットにかかる部分のみ12.5φにしてあるのだ。

▶チビロク用ブラケットはすでに図面もあるので、欲しい人は板東商会に問い合わせさせてみてよ。材質なんかは変更できると思うよ。



取材協力
板東商会
☎042-734-9389
ウエタケエンジニアリング
☎047-175-2916



こだわりサポートの 注目点

▶純正ブラケットのボルト穴が12.5φなので、それにぴったり合うようにボルトの首下部を12.5φにしてある。ワンオフボルトだ。



▶そろそろ出番のモーターテックさん。このセッティング次第でエンジンの特性やパワーも変わる。ここはウエタケさんのアテの見せどころ。



▶覚えていませうか、このハチロクにはAEROに積んでいたクルーバA仕様のTRD製4A-Gというお宝が載っているんですよ。